

音程

楽典和声講座 #04 ～ 音の幅が響きを決める!

今回扱う内容は……

1. 「度」とは？～根音から数えて何番目？
2. 完全協和音程～完全1度・8度・5度・4度
3. 転回～音程をひっくりかえす
4. 不完全協和音程～3度と6度、長と短
5. 不協和音程～2度・7度
6. 増と減～トライトーンを例に

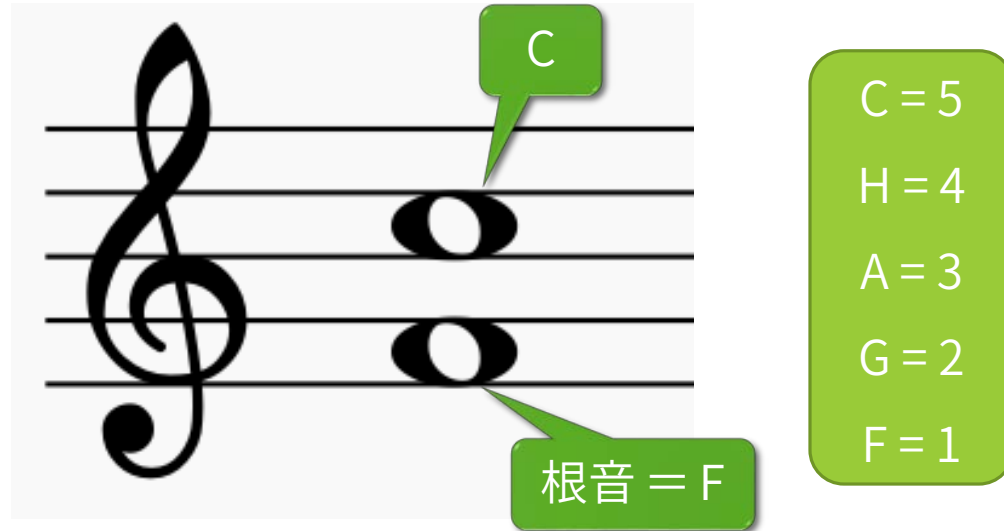
1.「度」とは？ ～ 根音から数えて何番目？

楽典和声講座 #04 音程 ～ 音の幅が響きを決める！

音程って？

- 音程 = 2つの音の幅
 - ✓ 「音の高さ」のことを音程と呼ぶ人もいるが……
 - ✓ 楽典の世界では言葉の定義が違う
 - 音の幅 = 音程 (Interval)
 - 音の高さ = 音高 (Pitch)
 - ✓ 「度」 = 音程をあらわすための単位

「度」って？



A musical staff in treble clef with two notes: F (root) on the second line and C on the fourth line. A green callout bubble labeled 'C' points to the upper note, and another labeled '根音 = F' points to the lower note. To the right, a green rounded rectangle contains a list of intervals:

- C = 5
- H = 4
- A = 3
- G = 2
- F = 1

➤ 度 = 楽譜上での幅

- ✓ 基準となる下の音(根音)を“1番目”として、上の音が何番目か？
- ✓ たとえば、上図の音符は5度になる

〔音程の例〕 根音が F の音程

A musical staff in treble clef showing intervals starting from the note F (first line). The intervals are labeled as follows:

- 1st degree: Two F notes on the first line. Callout: 同じ音 (Same note).
- 2nd degree: F on the first line and G on the second line. Callout: 隣の音 (Adjacent note).
- 3rd degree: F on the first line and A on the second space. Callout: 8 (representing the interval).
- 4th degree: F on the first line and C on the third line.
- 5th degree: F on the first line and G on the third space.
- 6th degree: F on the first line and A on the fourth line.
- 7th degree: F on the first line and B on the fourth space.
- 8th degree: F on the first line and F on the fifth line. Callout: オクターブ (Octave).

Below the staff, green boxes label the intervals: 1度, 2度, 3度, 4度, 5度, 6度, 7度, 8度.

- 1度 = 同じ音 (「0度」ではない!)
- 2度 = 隣の音
- 8度 = オクターブ

音程と臨時記号・調号

D

Des

Dis

全て6度

根音 = F

D = 6
C = 5
H = 4
A = 3
G = 2
F = 1

- 上の図は全て「6度」
 - ✓ 「度」は臨時記号・調号とは関係ない
 - ✓ あくまで、楽譜上での音符の玉同士の幅をみる

音程と臨時記号・調号

The diagram shows a treble clef staff with two measures. The first measure contains a G4 note with a flat (Des) and a G4 note without an accidental. A green box below the staff indicates a 5-degree interval between them. The second measure contains a G4 note with a sharp (Cis) and a G4 note without an accidental. A green box below the staff indicates a 4-degree interval between them. A green box above the staff shows 'Des = Cis'. A green box below the second measure indicates '根音 = G'. To the right, a green rounded rectangle contains a list of notes and their corresponding scale degrees: D=5, C=4, H=3, A=2, G=1.

Des = Cis

5度

4度

根音 = G

D = 5
C = 4
H = 3
A = 2
G = 1

- DesとCisは結局同じ音になる
 - ✓ でも、左は5度、右は4度
 - ✓ あくまで、楽譜上での音符の玉同士の幅をみる

2.完全協和音程 ～ 完全1度・8度・5度・4度

楽典和声講座 #04 音程 ～ 音の幅が響きを決める!

長音階から音程を作る

前回扱った長音階



ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド

The image shows a musical staff with a treble clef. Eight whole notes are written on the staff, ascending from the bottom line to the top line. Below each note is a green box containing a Japanese syllable: ド (Do), レ (Re), ミ (Mi), ファ (Fa), ソ (So), ラ (La), シ (Si), and ド (Do). A green box with the text '前回扱った長音階' (Major scale from the previous lesson) is positioned above the staff.

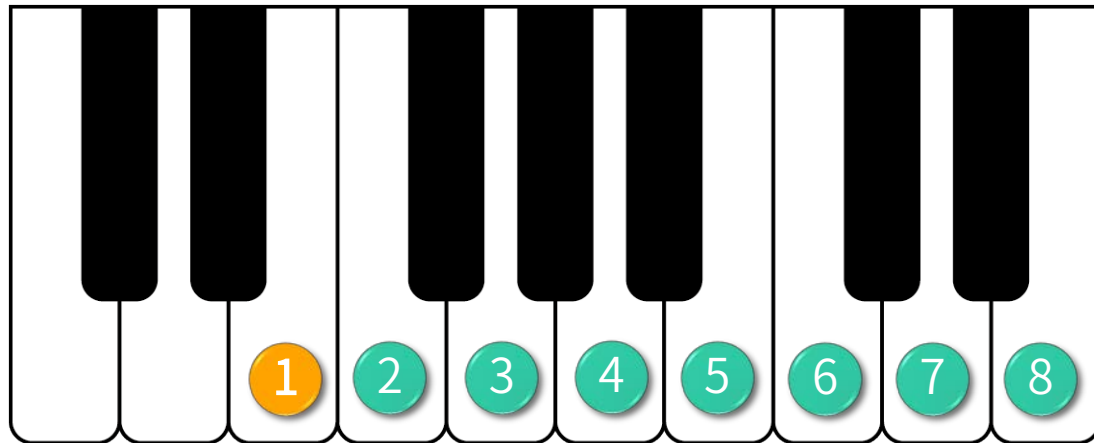
- 和音・メロディはスケールから音を抜き出して作られる
- 今回は同様に、長音階を基に**音程**を作っていく

長音階から音程を作る

いま、長音階から音程を作るので、白鍵だけしか使ってはいけない。

つまり、度を数えるにはドレミファソラシドそれぞれを根音として、
白鍵だけを数えていけばよい

例えば、ミを根音としたとき……



ミを根音とした、

1度の音程は半音0個

2度の音程は半音1個

3度の音程は半音3個

4度の音程は半音5個

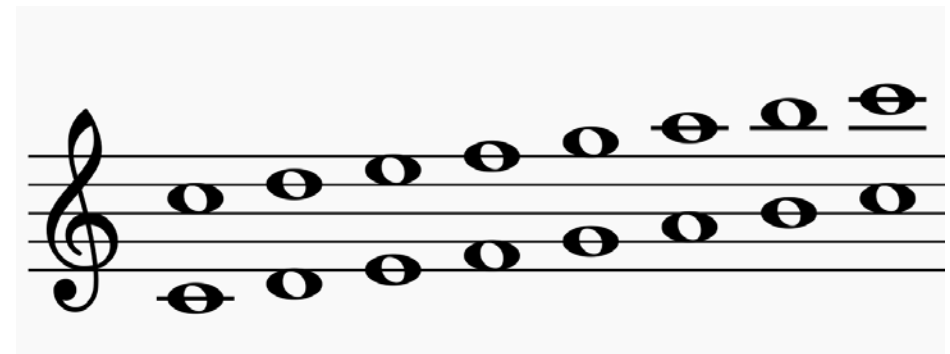
と数えていくことになる。

長音階の中の8度

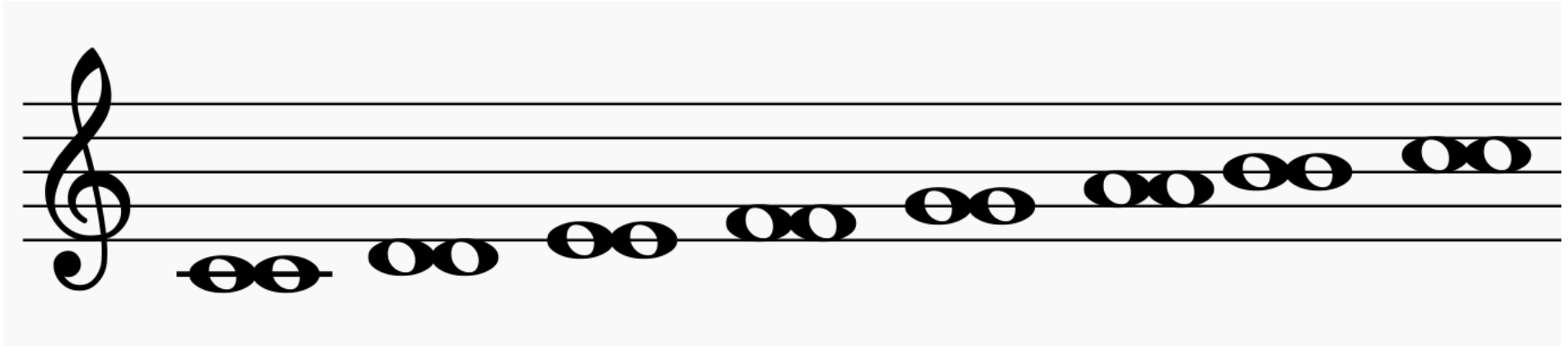


「8度.mp4」

- 長音階の中の8度上 = オクターブ
 - ✓ 全部同じ幅になる(半音12個)
 - ✓ 半音12個からなる8度 = **完全8度**

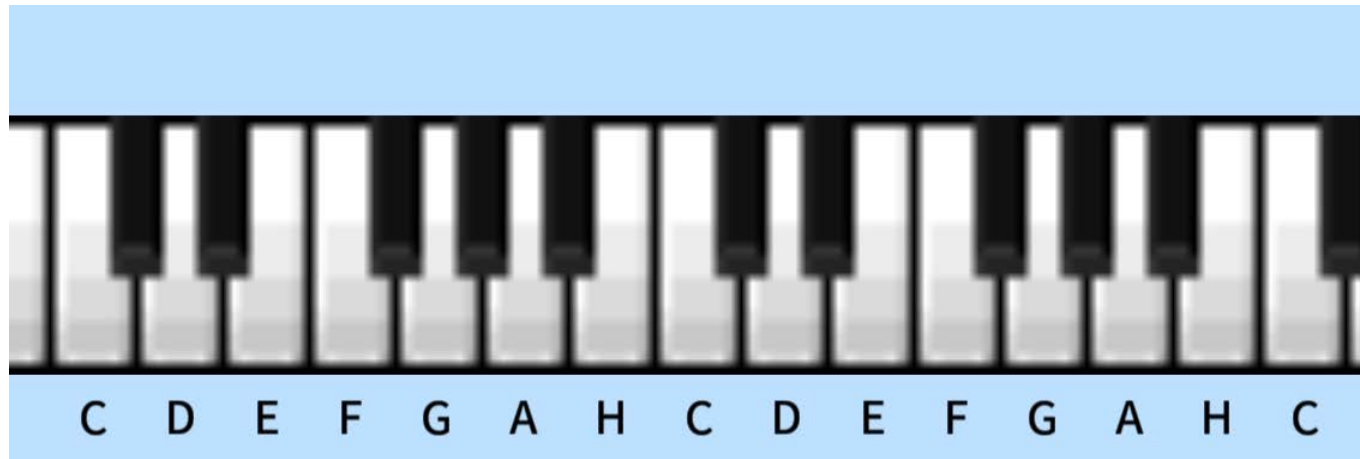


長音階の中の1度



- 長音階の中の1度上 = 同じ音
 - ✓ 当たり前だが全部同じ幅になる(半音0個)
 - ✓ 半音0個からなる1度 = **完全1度**

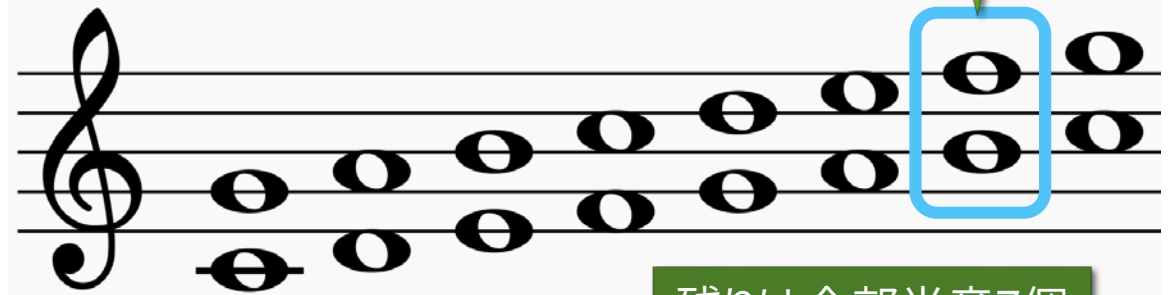
長音階の中の5度



「5度.mp4」

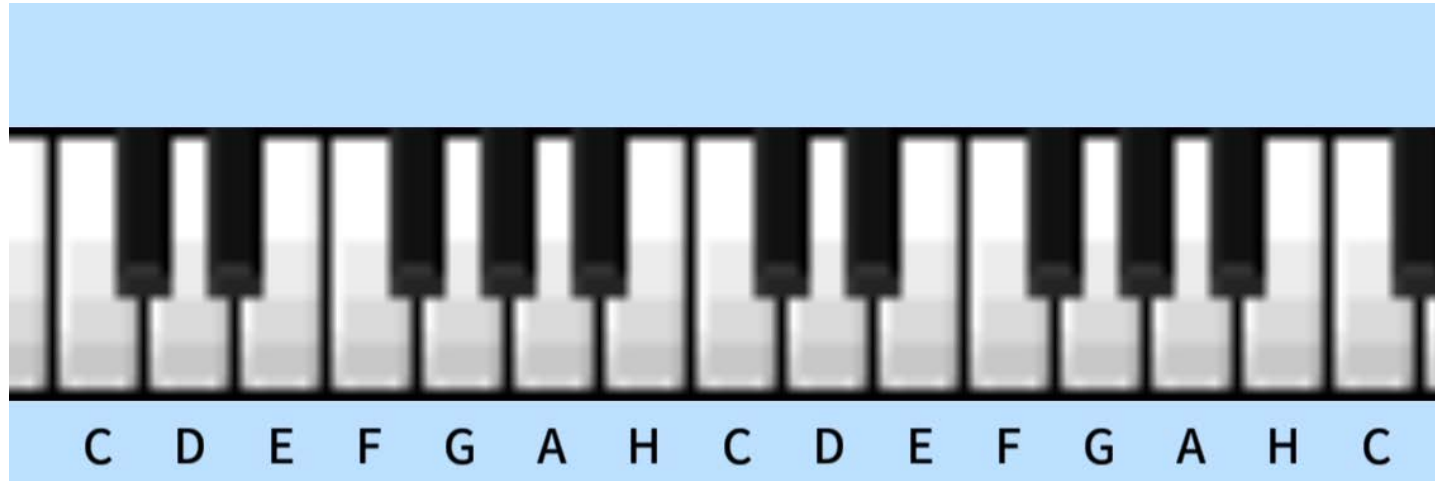
これだけ
半音6個

- ✓ ほぼ全部同じ幅になる(半音7個)
- ✓ 半音7個からなる5度 = **完全5度**
- ✓ 仲間はずれ(半音6個)は後ほど扱う



残りは全部半音7個

長音階の中の4度



「4度.mp4」

これだけ
半音6個

- ✓ ほぼ全部同じ幅になる(半音5個)
- ✓ 半音5個からなる4度 = **完全4度**
- ✓ 仲間はずれ(半音6個)は後ほど扱う

残りは全部半音5個

完全協和音程

- 「完全」とついた音程のこと
 - ✓ 完全1度 = 半音0個 = 同じ音
 - ✓ 完全4度 = 半音5個
 - ✓ 完全5度 = 半音7個
 - ✓ 完全8度 = 半音12個 = オクターブ
- これらは「きれいなハーモニー(響き)」になる
 - ✓ なぜきれいに聴こえるかは、第6回で扱う

3. 転回 ~ 音程をひっくりかえす

楽典和声講座 #04 音程 ~ 音の幅が響きを決める!

転回

- 音程をひっくりかえすこと
 - ✓ 転回されたあとの音程を「転回形」と呼ぶ
 - ✓ 完全8度 = 半音12個 = オクターブ
- 2通りの方法がある
 1. 上の音符をオクターブ下げる
 2. 下の音符をオクターブ上げる
 - 結果的にはどちらでも同じこと

元の音程
完全4度

転回形1.
完全5度

転回形2.
完全5度

転回形同士の関係



半音5個+半音7個 = 半音12個 = オクターブ

- 転回形の転回形はもとの音程になる
 - ✓ 完全4度と完全5度は転回形同士の関係である
 - ✓ 転回形同士の半音の数を足すと、必ず半音12個 = オクターブ

転回形同士の関係



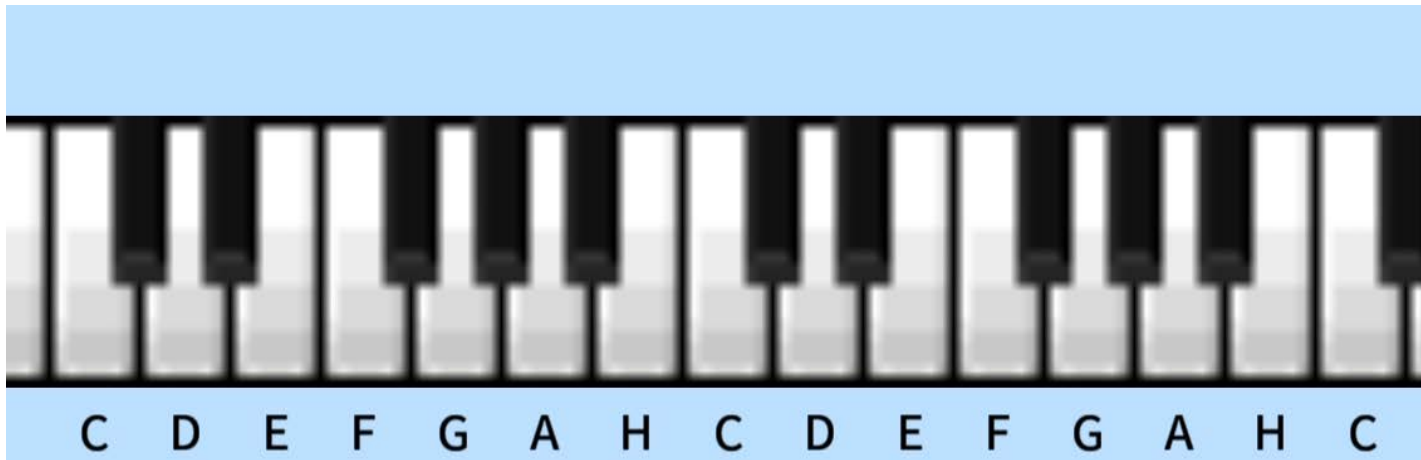
半音0個+半音12個 = 半音12個 = オクターブ

- 形式上、完全1度と完全8度も転回形同士の関係
 - ✓ 「ひっくりかえす感」はないが……
 - ✓ 確かに転回形同士の半音の数を足すと、半音12個になっている

4.不完全協和音程 ～ 3度と6度、長と短

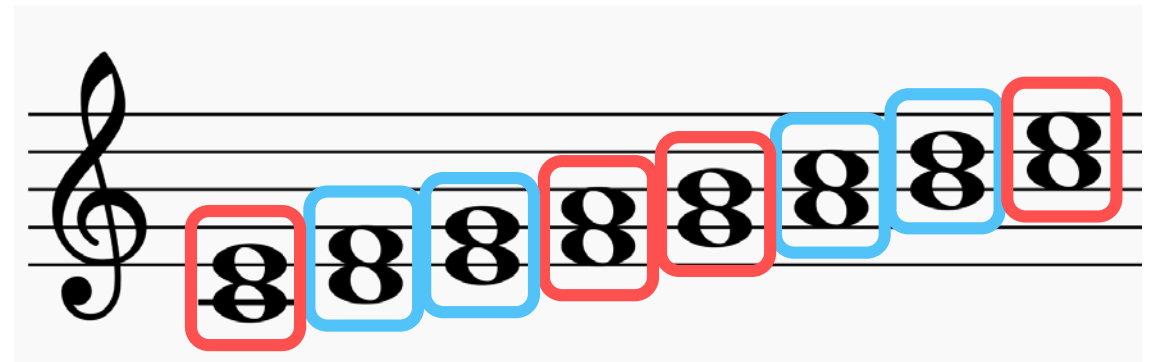
楽典和声講座 #04 音程 ～ 音の幅が響きを決める!

長音階の中の3度

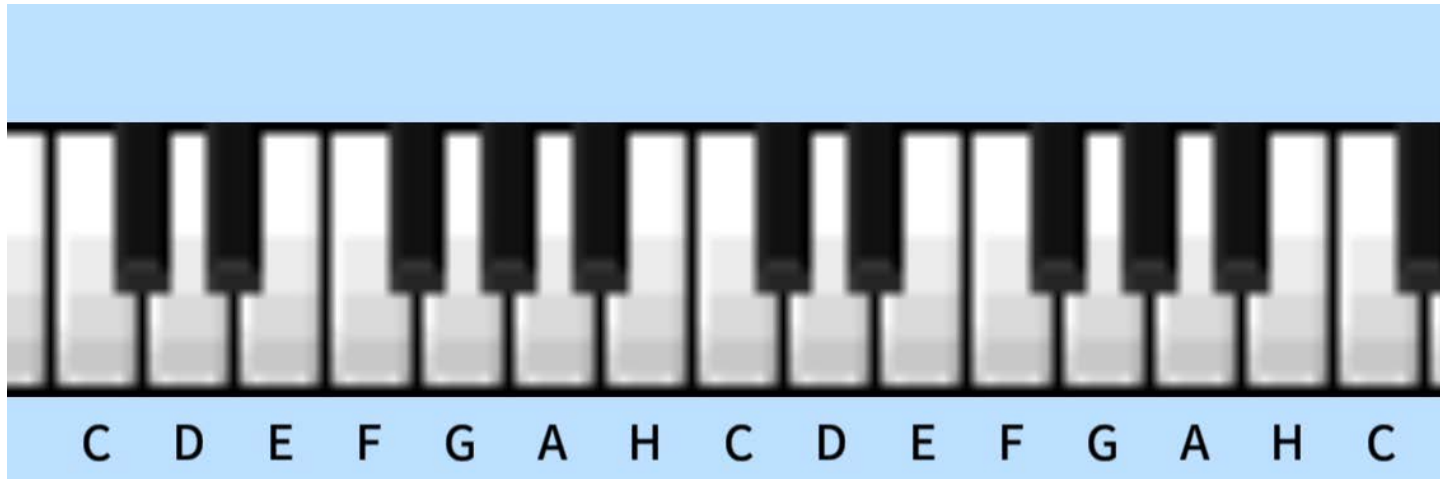


「3度.mp4」

- ✓ 2種類の幅に分かれる
- ✓ 半音3個からなる3度 = **短3度**
- ✓ 半音4個からなる3度 = **長3度**

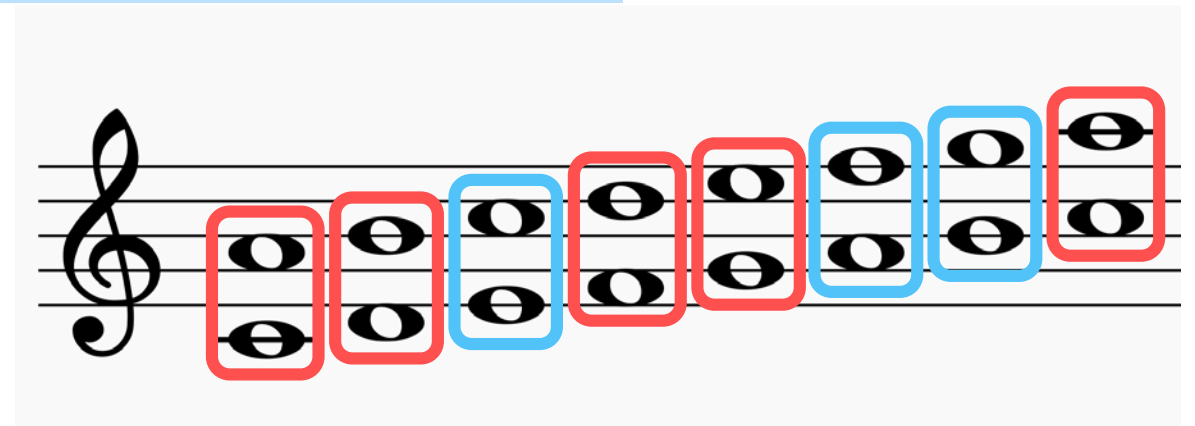


長音階の中の6度

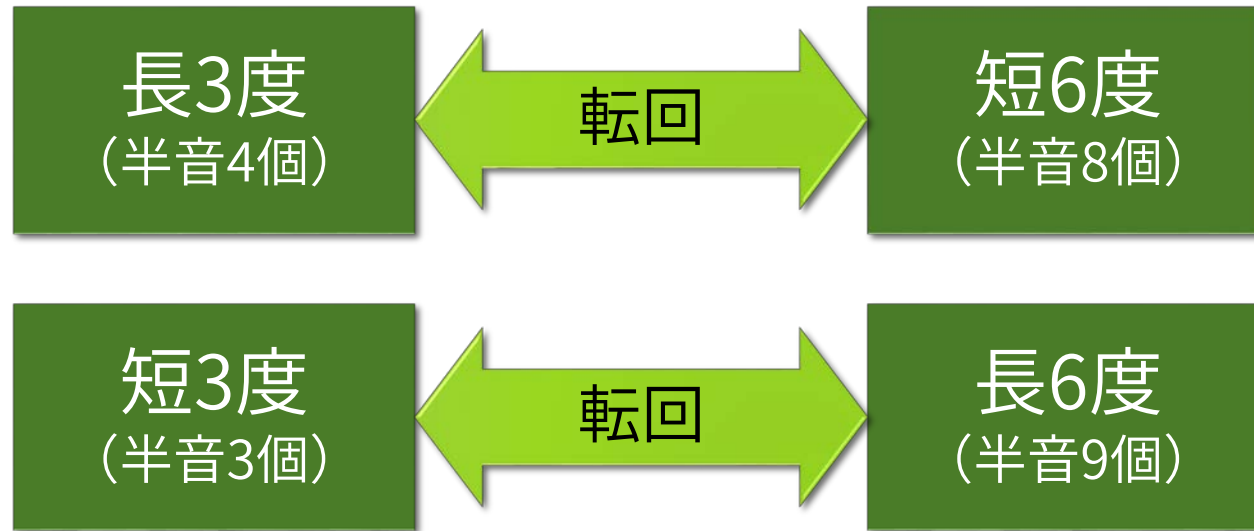


「6度.mp4」

- ✓ これも2種類の幅に分かれる
- ✓ 半音8個からなる6度 = **短6度**
- ✓ 半音9個からなる6度 = **長6度**



3度と6度の関係



- 長3度↔短6度、短3度↔長6度がそれぞれ転回形同士
 - ✓ 転回すると長短が逆転する! と覚える

不完全協和音程

- 以下の音程のこと
 - ✓ 短3度 = 半音3個
 - ✓ 長3度 = 半音4個
 - ✓ 短6度 = 半音8個
 - ✓ 長6度 = 半音9個
- これらは「そこそこきれいなハーモニー(響き)」になる
 - ✓ なぜ、“そこそこ”きれいに聴こえるかは、第6回で扱う

5.不協和音程 ～2度・7度

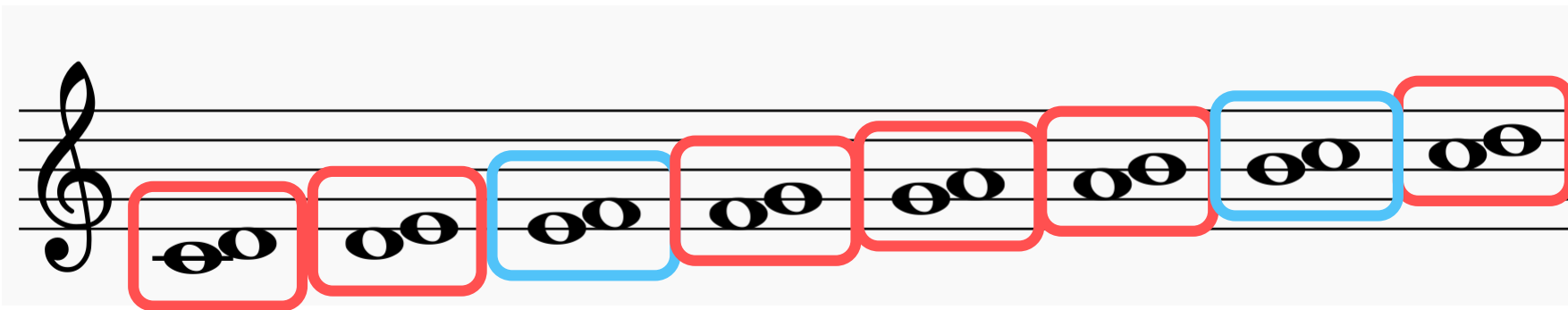
楽典和声講座 #04 音程 ～ 音の幅が響きを決める!

長音階の中の2度

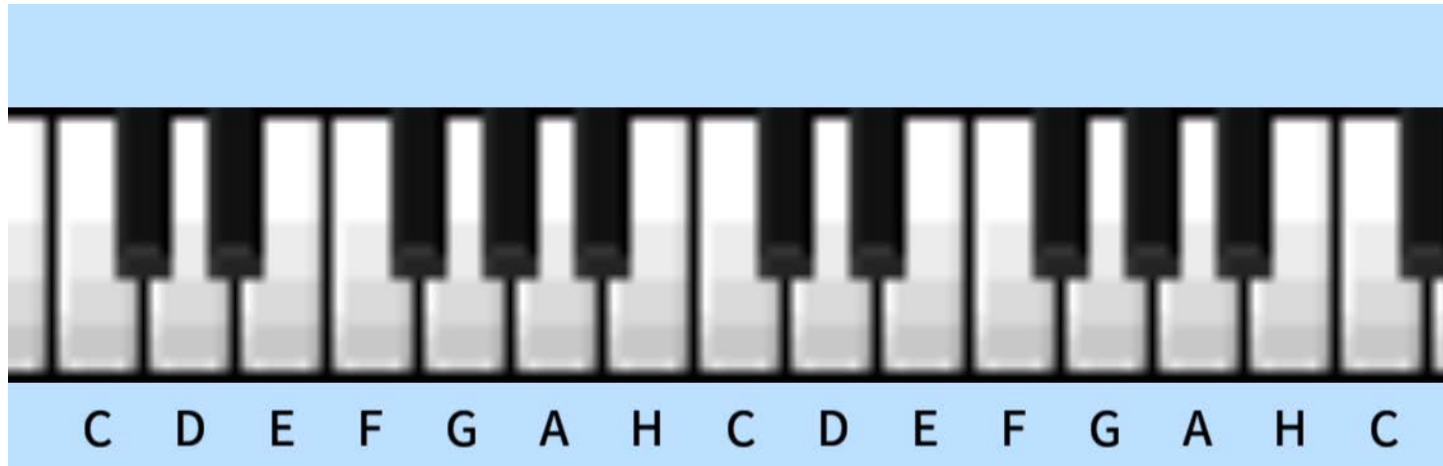
- ✓ 2種類の幅に分かれる
- ✓ 半音1個からなる2度 = **短2度**
- ✓ 半音2個からなる2度 = **長2度**
 - 短2度 = 半音
 - 長2度 = 全音



「2度.mp4」

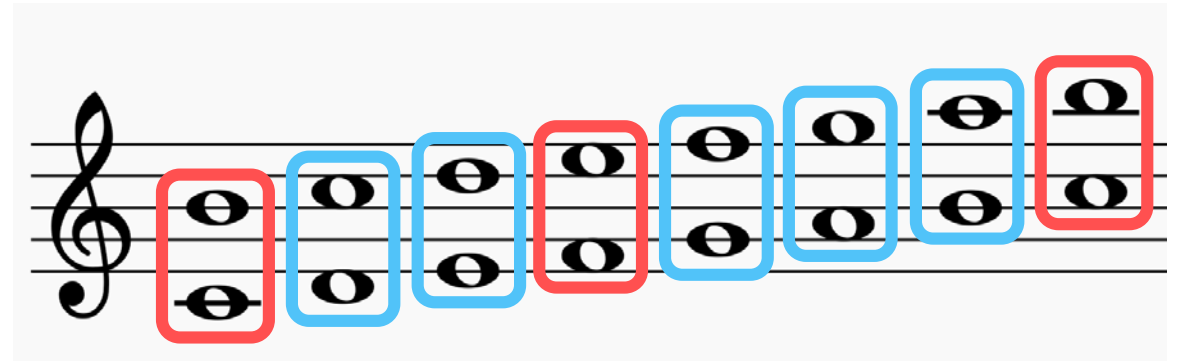


長音階の中の7度

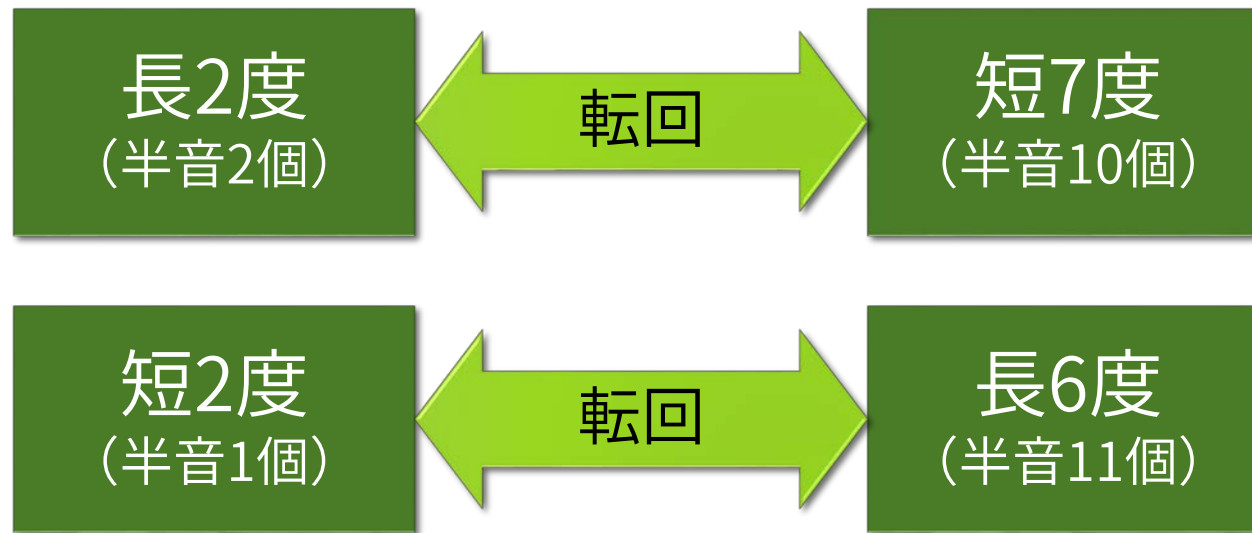


「7度.mp4」

- ✓ 2種類の幅に分かれる
- ✓ 半音10個からなる7度 = **短7度**
- ✓ 半音11個からなる7度 = **長7度**



2度と7度の関係



- 長2度↔短7度、短2度↔長7度がそれぞれ転回形同士
 - ✓ 転回すると長短が逆転する!

不協和音程

- 協和音程 = 以下の2つの総称
 - ✓ 完全協和音程 = 完全1・4・5・8度
 - ✓ 不完全協和音程 = 長短3・6度
- 不協和音程 = 協和音程でないものすべて
 - ✓ 長短2・7度もこれに入るが、これだけではない

6.増と減 ～トライトーンを例に

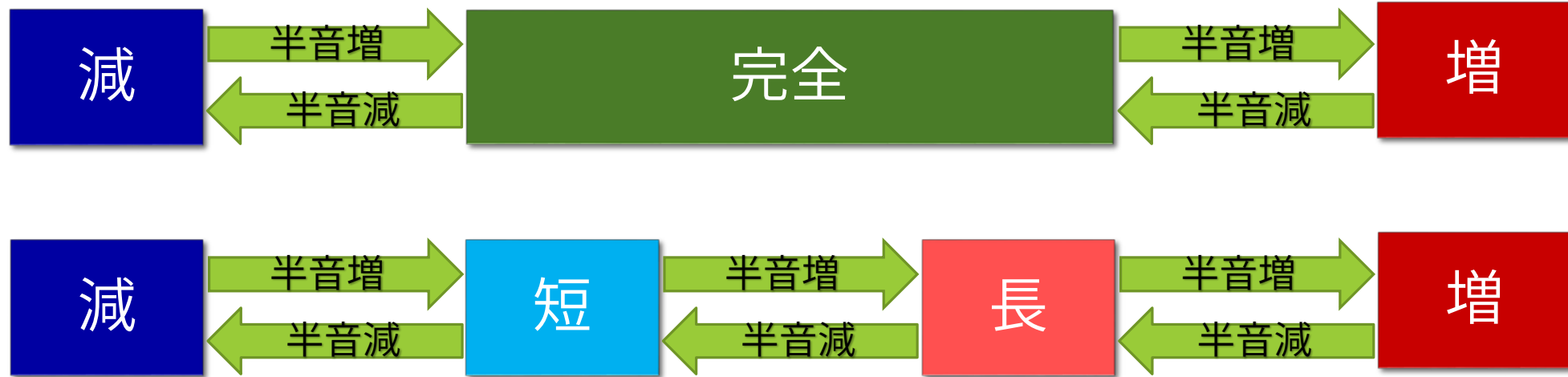
楽典和声講座 #04 音程 ～ 音の幅が響きを決める!

トライトーン

- ▶ 半音6つからなる4・5度のこと。
 - ✓ 全音3つ分であることに由来
 - ✓ 日本語で「三全音」とも呼ばれる
 - ✓ 昔の西洋では、悪魔の音程とも
- ▶ 不協和音程に属する
- ▶ 完全・長・短では表しきれない

The diagram illustrates the Tritone interval in two parts. The top part shows a 5th degree interval (F4 to C5) on a treble clef staff. A blue box highlights the interval between F4 and C5, with a callout box stating 'これだけ半音6個' (Only 6 semitones here). A green box at the bottom right of the staff indicates '残りは全部半音7個' (The rest is all 7 semitones). The bottom part shows a 4th degree interval (F4 to Bb4) on a treble clef staff. A blue box highlights the interval between F4 and Bb4, with a callout box stating 'これだけ半音6個' (Only 6 semitones here). A green box at the bottom right of the staff indicates '残りは全部半音5個' (The rest is all 5 semitones).

増・減



- 「完全」から半音増えると「増」、半音減ると「減」
- 「長」から半音増えると「増」、「短」から半音減ると「減」

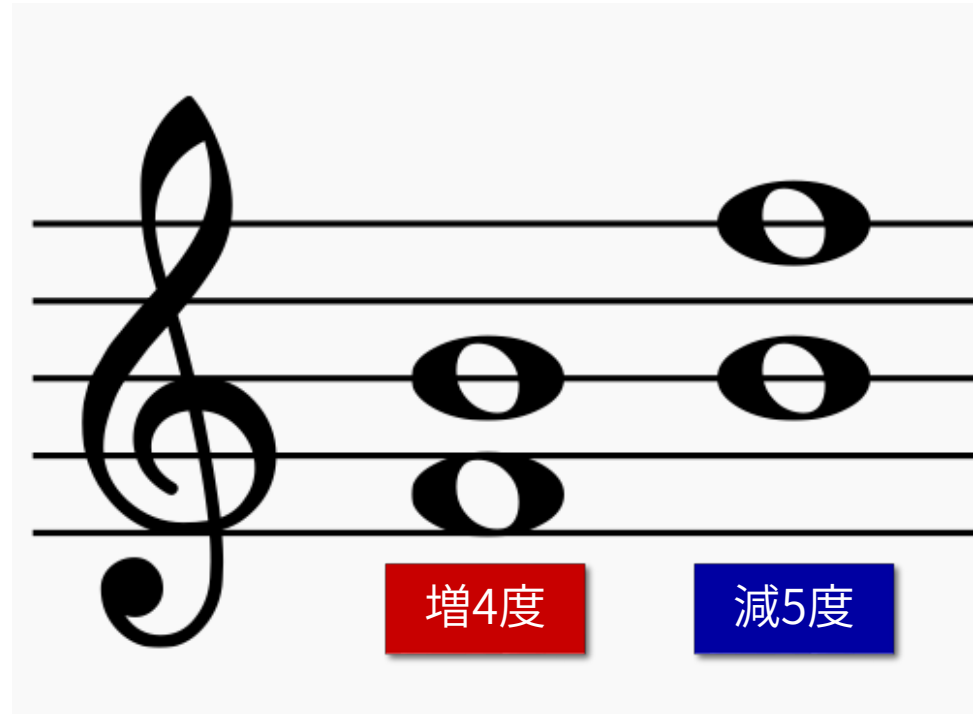
〔発展〕 重増・重減



- 「増」から半音増えると「重増」、「減」から半音減ると「重減」
- めったに使わない
 - ✓ ダブルシャープ・ダブルフラットと対応する

増4度・減5度

- 増4度
 - ✓ 半音6つからなる4度
 - ✓ 完全4度(半音5つ)より半音広い
- 減5度
 - ✓ 半音6つからなる5度
 - ✓ 完全5度(半音7つ)より半音狭い
- これらは転回形同士



その他の音程の例

The image displays two musical staves. The left staff shows three intervals: a long 6th (C4 to A5), a short 6th (C4 to Bb5), and an augmented 6th (C4 to D#5). The right staff shows two intervals: a diminished 5th (C4 to Gb4) and an augmented 4th (C4 to D#5). Below each interval is a colored label: red for long 6th and augmented 6th, blue for short 6th and diminished 5th, and red for augmented 4th.

- 最初の方で例に出した音程も、完全・長・短・増・減で表せる
- 臨時記号・調号は「度」自体を変えないが、完全・長・短を変える

[まとめ] 便利な表

(根音)	1度	2度	3度	4度	5度	6度	7度	8度
do	完全	長	長	完全	完全	長	長	完全
re		長	短			増	長	
mi		短	短	長			長	
fa		長	長	長			短	
so		長	長	完全		長	短	
la		長	短			短	短	
ti		短	短	減		短	短	

(← この行は全部 完全 or 長 である!)

完全1度	半音0個	完全5度	半音7個
短2度	半音1個	短6度	半音8個
長2度	半音2個	長6度	半音9個
短3度	半音3個	短7度	半音10個
長3度	半音4個	長7度	半音11個
完全4度	半音5個	完全8度	半音12個

※半音6個はトライtoon(三全音)

▲ 長音階に含まれる音程

▲ 完全・長・短の音程と半音の数

今回扱った内容

1. 「度」とは？～根音から数えて何番目？
2. 完全協和音程～完全1度・8度・5度・4度
3. 転回～音程をひっくりかえす
4. 不完全協和音程～3度と6度、長と短
5. 不協和音程～2度・7度
6. 増と減～トライトーンを例に

Next : #5 調と移動ド～音階をスライドしてみよう